

議会だより

あしや

No.221

令和6年
5月25日発行

らんまん
春爛漫

～ 戻ってきた日常 ～



3月
定例会

令和6年度予算	2 P
3月定例会	4 P
町政を問う一般質問	9 P
議会活動報告	15 P

第二緑ヶ丘グラウンドにて

表紙の関連記事は 16 ページに掲載しています。

まちづくりに期待 一般会計 95 億 6300 万円

前年比 5.9% 増



芦屋港活性化事業

- ・ 外部人材業務委託
- ・ Web 3 基盤構築業務委託
- ・ 芦屋港活性化事業整備計画策定業務
- ・ 広場等整備設計委託
- ・ 飲食直売施設整備設計委託料
- ・ サウンディング調査

魚見公園整備事業

マリンテラスあしや、芦屋釜の里とも連動し、新たな観光スポットとして機能拡充を行うため、公園内の整備を行う。

【工事期間】

令和 6 年度～令和 7 年度

工事期間中は、公園内の立ち入りは禁止になります。



テニスコート改修事業

総合運動公園テニスコートのクレーコート（※注 1）4 面エリアの擁壁^{ようへき}やフェンスの改修、照明の LED 化、コート面の人工芝化などを行う。

【工事期間】

令和 6 年度～令和 7 年度

※注 1

クレーコート…土と砂でできたコート



住民の声



吉永美幸さん

夕日が美しい芦屋の港に地元の新鮮な魚介類・野菜やお土産品などの物産館・案内所ができ、たくさんの方々の笑顔が見られると思うとワクワクします。地元住民としては温泉施設などあれば最高です。おしゃれで楽しい町の第一歩になることを期待しています。

令和6年度予算

未来を見据えた 計画的な事業の推進へ



レジャープール改修事業

レジャープールアクアシアンの夏季利用者は約8万6000人で、海浜公園・砂像展などの利用を含めると年間18万人。

劣化したプールサイドの既存塗装面を撤去し再塗装を行う。

【工事期間】

令和6年9月～令和7年3月

放課後塾

学力向上のため中学校3年生を対象とした放課後特別授業「イブニングスタディ」を継続するとともに、新たに小学校5年生と、中学校2年生の希望者を対象とした「放課後塾」を行い、補充学習の強化をはかる。

【開始時期】 2学期以降を予定



商工会補助金

主なものに、町の独自支援（物価高騰対策）を引き続き行う予定として、芦屋町商工会が発行する「にここ商品券」のプレミアム分における町補助分を負担する。

住民の声



八木孝雄さん

子育てをしながら事業を営んでいます。魚見公園やレジャープールなど家族の憩いの場所が改修されるのはありがたいです。

事業者ですので、プレミアム付き商品券も町の活性化につながります。今後もより良い芦屋町に期待します。

3月
定例会

3月1日～15日

事業の進捗をチエック

対前年比 一般会計5億3300万円増

アッシーの
議会豆知識

・討論とは

自分の考えに反対する議員や賛否を決めかねている議員に対し、賛同してもらうために意見を表明すること。

一言インタビュー

議会にひとこと！

◆芦屋港活性化事業
整備計画策定

問 芦屋港活性化事業整備計画の内容は。

答 芦屋港レジャー港化の飲食直売施設や駐車場、プロムナードなどの各施設の詳細な整備計画を策定する。

問 砂像屋内展示施設の建設中止に伴い、今年の7月までに新たな施策を示すことになっているが、今後のスケジュールは。

答 7月ごろをめどに、砂像屋内展示施設建築予定だった広場の活用方法を決定し、その後、整備計画策定に着手し、段階的に設計・工事に入る予定である。

◆テニスコート
改修事業

問 人工芝化のメリットと工事期間中の利用制限はどうなるのか。

答 維持管理がしやすい。クレーコートは雨天後の整地など、手間が多くなっている。

利用できない期間は発生すると考えている。時期などは決まり次第、利用者などに情報提供する。



テニスコート

反対

【甘い見通し砂像屋内展示施設破綻に学ぶべき】

妹川 征男議員



芦屋港レジャー港化の費用総額は、新年度予算1億3660万円を含めて3億5700万円。この予算を福祉や教育予算に回すべき。老人憩の家に投じていれば3カ所の建築は完成していたはず。大型プロジェクトでありながら、住民説明会は一度も行われず、町民の理解は到底得られない。集客の目玉である砂像屋内展示施設の突如破綻に学ばなければ、同じ轍を踏むことになる。

賛成

【生活に寄り添う予算】

萩原 洋子議員

歳入である町税は減少しているがボートからの7億円や町の貯金を繰り入れ、町財政の安定をはかっている。歳出は芦屋港レジャー港化推進費やレジャープール改修、魚見公園整備など観光レジャー予算、放課後塾やテニスコート改修、歴史資料館LED化など教育・スポーツ・文化の予算、プレミアム付き商品券発行補助など物価高騰対策費用も評価できる。



議会だよりを通して
議会を注視しています。



永井光浩さん (63歳)

条例

◆釜の里・歴史の里 入館料など改定

令和6年11月の芦屋釜の里収蔵展示施設リニューアルオープンに伴い、入館料・呈茶料（100円程度増額）などを改定します。

問 呈茶料の400円は高くないか。

答 抹茶や菓子代の価格が高騰しているため仕方なく値上げすることにした。

問 9時30分開館に変更するようだがマリントラスあしや宿泊者への影響は。

答 9時からの入館者はゼロではないが総数としては少ないため、大きな影響はないと考えている。

◆事務手数料条例の一部を改正

コンビニ交付の利用促進と住民の利便性向上を目的に、証明書発行手数料減額のため条例の一部を改正します。

減額金額は100円、実施期間は令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間です。

問 芦屋町外のコンビニ交付機でも適用されるか。

答 日本全国のコンビニでも100円引きになる。



コンビニ交付機（役場内）

予算

◆給食費値上げ

芦屋町給食センター特別会計の歳入歳出予算総額は1億6203万9000円で、す（前年度比10・8%増）。

問 1人あたりの給食費は、どうなるのか。

答 8月の徴収をやめ、年11回の徴収で、小学校が月額4300円から4800円に、中学校が月額5100円から5400円になる（うち半額を町が負担）。



給食センター

反対



【給食費の値上げに反対】

川上 誠一議員

給食費の値上げが147万円計上されている。2019年より学校給食費や教材費などを町が担っていく公会計化がなされている。公会計化されていけば急な物価上昇に対して足りない分を補正予算で対応できる。ウクライナ情勢にともない円安・物価高騰の中で多くの自治体が給食の無償化や値上げの抑制に取り組んでいる。食材費の不足分は補正予算で対応し、保護者に負担させるべきではない。

芦屋町をより良くしてください！



晃代さん（40代）

正算 補予

修正された事業をチェック



今後に期待 1億9600万円減

アッシーの
議会豆知識



・補正予算とは

追加事業などやむを得ない事情などによって予算の追加や変更を行う必要がある場合に、予算の補正を行うこと。

◆ふるさと応援 寄附金の減少

令和5年10月からふるさと納税の業務委託や返礼品の購入や送料などの経費を寄附額の50%以内におさめるルールの変更・厳格化が国より示されました。

それにより芦屋町では人気のあった「あまおう」の返礼品としての寄附金額が上昇したため寄附が減少し、寄附による歳入、運営経費の歳出を減額します。

問 寄附金に占める「あまおう」の割合は。

答 令和4年度は約70%だったが、令和5年度は1月末現在で約20%まで減少した。

◆砂像屋内展示施設 建設中止で減額

砂像屋内展示施設の建設を中止したことにより、国から交付を予定されていた補助金が交付されなくなったため、歳入が減額した。

また、砂像屋内展示施設の建設のために計上していた設計委託料も必要がなくなったため、歳出も減額した。



中止になった施設のイメージパース

柏原荒波対策や洞山観光の施策を考えてほしい。



小川昭生さん（92歳）

一言インタビュー

議会にひとこと！

決 議

続 どうなる、レジャー港!!

早期実現を求める決議を議会で可決

◆提案理由

町は芦屋港活性化基本計画に基づき、レジャー港化事業を推進している。また福岡県においてはポートパークなどの工事が計画通り進められ令和8年の開業となっている。

町は令和5年9月砂像屋内展示施設建設を中止し、令和6年7月までに計画を見直す方針を示したが、砂像屋内展示施設の代替案など進展が一向に見えてこない状況に鑑み「芦屋港レジャー港化」の早期実現を求めるものである。

■提出者

辻本 一夫

■賛成者

長島 毅 中西 智昭
本田 浩 香田 一之
田中 太 貝掛 俊之

◆決議内容

■整備方針の明示

計画変更により全体像が見えてこない状況であるため、早急に段階的な整備方針を決定すること。

■推進体制の抜本的見直し

本計画は芦屋町の一大プロジェクトであり、当初から大幅な計画見直しもあるため、芦屋港活性化推進室のみで対応できるものではない。

このため、関係各課を加えて副町長をトップとした組織体制により取り組むこと。

■1号上屋のリノベーション計画

1号上屋はどのような機能を持たせるかが重要である。早急に整備方針を決定し、県の開業に合わせることを。

■管理運営組織の形成・方向

・海浜公園への回遊性向上
港湾から海浜公園に通じる緑地帯の整備を行うことで回遊性を高めることができる。

県への陳情・協議を行い、一体的な整備計画として検討すること。

・中央病院跡地の有効活用
港湾から港湾緑地と中央病院跡地に至るエリアはレジャー港化と併せて一体的な整備を行うべきである。

また、町内外者が利用できる、民間企業などによる「健康温泉施設」の建設を検討すること。



提出者 辻本議員

ついに決議案を提出！

令和5年9月に執行部より砂像屋内展示施設の建設中止、再検討の報告があつて以来、議会としてはレジャー港化の動向を注視していた。

将来的なビジョンがいまだに伝わってこない中、今定例会においてレジャー港化の早期実現を求める決議を提出し賛成9、反対2賛成多数で可決された。

これを機に、足踏み状態であつたレジャー港化が少しでも早期に実現できるよう行政、議会、町民が一丸となり前に進むよう期待し、さらに注視していく。



委員長 長島議員



みんなの期待に応えるっちゃ！

意見がわかれた議案の賛否一覧

議案の賛否を掲載しています。掲載のない議案は、満場一致で可決されました。

○：賛成、×：反対を表しています。

※議長には、賛否の意思表示をする表決権がありません。

ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

3月定例会

今定例会では 32 議案が上程されました。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	中西	田中	香田	長島	萩原	本田	松岡	貝掛	妹川	辻本	川上	内海			
令和5年度芦屋町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	10	1	可決
令和6年度芦屋町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	—	9	2	可決
令和6年度芦屋町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	—	9	2	可決
令和6年度芦屋町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	—	9	2	可決
令和6年度芦屋町給食センター特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	—	9	2	可決
「芦屋港レジャー港化」の早期実現を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	—	9	2	可決

2月臨時会

今臨時会では 2 議案が上程され、全て満場一致で可決されました。



「いじめ防止対策推進法」の規定に基づき、芦屋町いじめ防止基本方針の策定並びにいじめ防止対策の推進、芦屋町いじめ問題対策連絡協議会、芦屋町いじめ問題調査委員会、芦屋町いじめ問題再調査委員会の設置、組織と運営に関し、必要な事項を定めるものです。

◆いじめ防止対策の推進

◆物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

住民税均等割のみ課税されている世帯に対し、給付金と低所得世帯こども加算給付金を給付します。

問 交付金の対象と金額は。

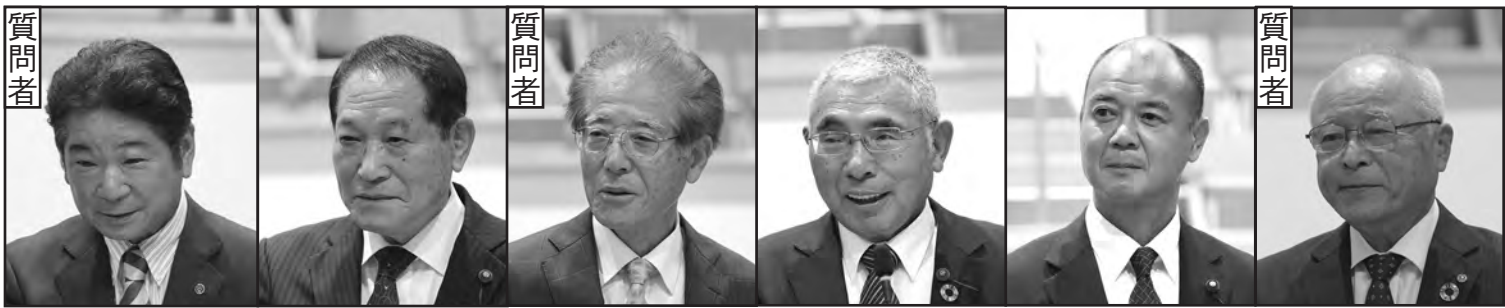
答 これまで行われてきた低所得者支援を補足する給付として、令和5年度の住民税均等割のみ課税されている世帯と非課税世帯で構成される世帯に対し10万円を給付する。

また、令和5年度の住民税均等割のみ課税されている世帯と非課税世帯で18歳以下の児童がいる世帯に対し児童1人あたり5万円を給付する。

2月臨時会

2月15日

条例



町政を問う 一般質問



一般質問会議録

3月4日に5人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などの所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねることです。

ページ	質問議員	質問事項
10	松岡 泉	◎ 被災者支援業務のDX化 ◎ 町誌の作成 ○ 認知症対策
11	本田 浩	◎ 芦屋町の防災計画及び防災対策
12	萩原 洋子	◎ 上下水道施設の災害対策 ◎ 病児・病後児保育の利用
13	川上 誠一	◎ 介護保険制度 ◎ 学校給食の完全無償化
14	妹川 征男	◎ 町長公約に関する老人憩の家 ○ 農業用水路無断埋め立て

◎：記事掲載あり ○：記事掲載なし

議会だよりは要約しています。詳しくはホームページの会議録や録画中継でご確認ください。



まつおか いずみ
松岡 泉

録画中継



町誌の作成

芦屋町の歴史を知るには

芦屋釜・歴史文化課長

まず、芦屋町の町誌だ

問 芦屋町の町誌作成の意義は何か。

答 町の優れた文化遺産などを記録し保存することや、読者が郷土に対する理解を深める手段となることである。

問 今までに作成した町誌とその記載内容は。

答 町制80周年を記念して昭和47年に刊行、町制100周年を記念して平成3年に増補改訂版が刊行されている。町の風土、歴史、民俗・文化や住民の過去の回想の記録などが良くまとめられている。

問 実施計画には町誌作成の記載はあるが検討結果は。

答 「温故知新」という言葉がある。町誌の作成には準備期間が必要となる。今後、作成の方向で進めていく。

問 町誌は、町民に手軽に手にとってもらえ、子ども

が使える概要版や動画が必要だと思われるが。

答 学校教育に活用でき、「街歩き」など観光にも活用できるものを考える。



芦屋町誌

被災者支援のDX化

※業務のDX化：デジタル技術で「社会や生活の形を変える」こと。

問 国は災害時の被災者支援業務の迅速化・効率化を

はかるため、「クラウド型被災者支援システム」を構築し、運用をすでに開始しているが、利用が進んでいない。課題は何か。

答 導入経費的な面や導入後のランニングコスト、罹災証明書はコンビニで発行できるが、罹災の判定は人為的な判定が必要となる点である。

問 昨年第2回の定例会で、阪神・淡路大震災の経験から作成された西宮市のシステムの導入を提案した。被災した場合に必要な罹災証明書は職員などの調査により、大変な労力や時間、経費を費やして作成される。被災者支援システムも、罹災証明書がなくては意味がない。システムのDX化は。

答 被害状況判定に対応していくためには、デジタル化を活用する必要がある。クラウド型被災者支援システムと被災判定が迅速にできるシステムの調査・研究を進める。



芦屋町の防災計画及び防災対策

防災士の活動は

総務課長

防災意識の向上に寄与

問 防災訓練後の評価反省の活用方法は。

答 参加者・担当者の所見を次の訓練へ反映させ、防災力向上をはかっている。

問 訓練情報の共有化など、はかられているのか。

答 課内や町長へ報告、参加者のアンケート結果や町の考え方を区長会に報告し次回の訓練計画に反映させている。

問 津波対策として海岸部の自治区は重点的な防災訓練が必要ではないか。

答 非常に有意義と思うが年2回の訓練とは別に希望があれば自治区が主体となり役場職員が支援する形が望ましいと考える。

問 家具等転倒防止グッズ購入の補助や設置の人的援助が必要ではないか。

答 転倒防止グッズは高価でないため各世帯での設置を促し周知をはかっている。

問 昨年末の防災士登録人数と小学校区の内訳は。また今後也要請していくのか。

答 登録人数は23人で芦屋小学校区3人、芦屋東小学校区7人、山鹿小学校区10人となっており今後也要請を続けていく。

問 自治区や女性防火防災クラブや消防団など団体との連携はどう考えているのか。

答 平常時の活動から地域と顔が見える関係が重要と考え会議などの機会を捉え防災意識の向上をはかりたい。

問 自主防災組織の数と活動はどうなっているのか。

答 組織数として26区届け出があり、年2回の町の防災訓練に参加している。

問 令和5年4月1日時点の自治区の加入率は。

答 加入率は26・8%から100%までで、平均は52・3%である。

問 自治区の在り方を協議する場が必要と感じるがどのような対策をしているのか。

答 自治区活性化促進会議の活用と共に効果的な施策の検討を行い、自治区活動を支援している。



役場内での避難訓練の様子

萩原 洋子
はぎわら ひろこ

録画中継



上下水道施設の災害対策

下水道管の耐震化は

都市整備課長

計画的に進めていきたい

問 下水道施設の耐震化は。**答** 浄化センターの一部や中ノ浜ポンプ場は耐震化しているが、下水道管はまだまだ不十分である。**問** 被災した場合トイレが使えなくなるなど、住民の健康や社会活動に重大な影響が発生する。液状化対策の検討や主要な箇所の下水道管だけでも耐震化する考えは。**答** 液状化リスクの高い地域などを調査し、計画的に進めたい。**問** 大規模災害発生時、災害用トイレの確保は。**答** 災害応援協定の提携先から仮設トイレの提供を受けるようにしているが数量に限られるため、使い捨てトイレの備蓄を進めている。計画では災害用トイレは52基と定めているが足りていない。取り急ぎ防災

拠点への災害用トイレの確保を急ぎたい。他自治体ではマンホールトイレ設置の動きが高まっているため検討したい。

問 下水道係は管路被害調査や点検などの訓練は行っているのか。避難所開設訓練は住民の協力を得て、大規模災害に備えるべきでは。**答** できてない。町全体の防災訓練の在り方と併せ、訓練を行うことを具現化したい。

一部耐震化された芦屋町浄化センター

病児・病後児保育

問 町の病児・病後児保育は1市4町で運営し、遠賀中間医師会おんが病院内の保育室「ぞうさんルーム」で利用できる。しかし保育士の勤務体制が整わなかったことで開所日を縮小した時期があった。保育士の安定雇用など今後の対策は。**答** 1市4町とおんが病院で協議し、安定的で効率的な運営に努めたい。**問** ぞうさんルームの利用料1人1日2000円が、令和5年4月から県負担となり無料となった。しかし最大2家族の受け入れとなっているため、定員枠の拡大が必要では。**答** 現状では定員枠の拡大は考えていないが、保育士の確保などの安定的な運営や保育室での複数家族の受け入れなども協議していきたい。



かわかみせいいち
川上誠一

録画中継

介護保険制度

保険料はどうなるのか

福祉課長

月額5969円に上がる

問 第9期事業計画の介護保険料はどうなるのか。

答 Bグループの芦屋町の保険料は基準額が月額で442円アップし、5969円、年額7万1633円となる。

問 発足時の2倍の保険料となり年金も減額され多くの高齢者は重い負担に悲鳴をあげている。保険料を抑える準備基金の取り崩しは行ったのか。

答 53億円の基金のうち45億円を取り崩し、8億円は残す予定である。

問 なぜすべての基金を引き下げに充てないのか。高齢者から徴収した保険料は毎年15億円以上余り、基金に積み立てている。高齢者から取り過ぎた保険料は早急に保険料の軽減に充てるべきと思うが。

答 広域連合支部には、議員の意見があったことは伝える。

問 訪問介護の報酬が引き下げられ「在宅介護の終わりの始まり」との声もある。また、国は介護利用料の2割負担の拡大を計画しているが、高齢者への影響はどう考えるか。

答 利用料のアップは経済的負担が重く、高齢者の生活を圧迫し、サービスの利用機会低減を心配する意見もある。



地域でのサロン事業

問 学校給食の無償化は全国で522の自治体、約3割が踏み出している。福岡県でも11自治体が無償化している。芦屋町では5年間の半額補助だが学校給食は教育の一環である。憲法26条の「義務教育は無償」をどう認識しているのか。

答 無償とは授業料のみを指し、最高裁判例でも学校給食は憲法で定める無償の対象ではないと解釈されている。

問 判例の中では「国が保護者の負担を軽減する、立法政策として解決すべき」とし、政策として実現できるとしている。全額無償化を行っても予算の0.5%である。子どもに真っ先に予算を使うべきではないか。

答 給食費の負担軽減は子育て世代への支援策として判断したい。他自治体と協議し、無償化を県にも働きかけたい。

学校給食の
完全無償化

妹川征男



録画中継



町長公約に関する老人憩の家

利用者の反応は

福祉課長

理解してもらえなかった

問 町は「老人憩の家廃止案」を本年2月、利用者に説明した。反応は。

答 「廃止しないでほしい」との意見が多かった。公共施設の延床面積を削減する目標や財政負担などを説明したが理解してもらえなかった。

問 私は3カ所の説明会に参加したが「高齢者の楽しみをなぜ奪うのか」、「芦屋町に長く住み、町に貢献してきた。これからの人生を憩の家を通して有意義に過ごしていこうとする者に対して、なぜ理不尽な扱いをするのか」という意見に大きな拍手が起きた。「アンケートは廃止ありきのもの。廃止のシナリオづくりのために行ったとしか思えない」、「方針を決める前に報告しないのか」との質問に対し課長は何と答えたか。

答 「説明会の内容を町で協議した後に回答する」と答えた。

問 老人憩の家基本構想を策定したが、建て替えを怠ってきた町の姿勢に、利用者から怒りの声が噴き出ている。18歳以上の回答者で、利用したい人の割合は11・5%、1280人にもなる。憩の家は老朽化し、修繕などで休館に追い込まれてもなお、交流の場、健康維持、趣味を生かす場として喜びを満喫する高齢者が576人もいる。新築すれば利用者が大幅に増加するはず。福祉課は利用者数の減少を廃止の理由にしているが廃止は見直すべき。芦屋側、山鹿側の2カ所に建て替えた場合の老人憩の家の削減率は。

答 55%である。

問 「削減目標25%」をはるかに超え、廃止の理由にならないのでは。

答 廃止の理由は公共施設等総合管理計画の目標数値達成がおもな要因ではない。将

来の利用意向が少ないこと、財政負担が大きいことなども含め廃止案としている。

問 町長は、マニフェストを掲げて当選。マニフェストは政治理念ではなく、財政的裏づけ、実施期限など明記したもの。それを反故にすること、町民と議会に対する背信行為であり、政治的道義的責任が問われる。信頼回復のためにも廃止案を撤回し、老人憩の家基本構想に従って建て替えるべきでは。

答 マニフェストは「建て替えるを検討する」であって「建て替える」とは言っていない。



5年以内に廃止されようとする寿楽会館

総務財政委員会視察

日程：1月23日（火）～25日（木）

視察先：益城町、みやざき臨海公園、奄美大島ほか

視察者：本田浩、香田一之、内海猛年、

辻本一夫、貝掛俊之

ボートパークと住民が集う公園

今回は益城町復興まちづくりセンター（にじいろ）、みやざき臨海公園、あやまる岬公園を視察しました。益城町復興まちづくりセンターでは発災当時の復興に向けた歩みの説明を受け、災害から命を守るための「備える大切さ」を再認識しました。みやざき臨海公園ではボートパークと併設する公園で通年バーベキューができるエリアやビーチ活用の説明を受け、海を活用した集客増の工夫が随所にあり参考になりました。奄美大島では「あやまる岬公園」を視察し、月2回のグラウンドゴルフ大会の開催やおもしろ自転車・列車などの乗り物に人気があり、正月にはこたつを公園内に設置し初日の出を見る企画や人気のカフェがあり、年間を通して住民の交流がはかられています。今後の芦屋港レジャー港化の参考になりました。



視察の様子



あやまる岬公園の遊具

総務財政委員会視察

日程：3月6日（水）視察先：ボートレース芦屋

視察者：本田浩、香田一之、内海猛年、辻本一夫、妹川征男、貝掛俊之

艇庫改修工事完了

ボートレース芦屋の施設改修が完了したため、視察を行いました。経年劣化により老朽化した「艇庫」が新たに改修され、選手のレース環境が改善されました。日頃は見ることができないボートエンジンが60台ほど並んだ部屋や選手の食事場所などを見学し、毎年町へ数億円を繰り出しているボートレース場を誇らしく感じました。



ボートレース芦屋

議会広報委員会

しんとう

榛東村議会視察受け入れ

日程：12月18日（月）

受入先：群馬県榛東村議会

再会に笑顔

令和5年9月に広報委員会で視察させてもらった群馬県の榛東村議会議員の皆さんが芦屋町議会を訪れてくれました。再会までの期間も近かったので、さらなる意見交換に花が咲きました。これも人との縁と感じ、今後も親交を深めていきたいと思います。



榛東村議会・芦屋町議会

町かど インタビュー



芦屋町の介護サービス事業所に従事している
2人にインタビューしたっちゃ！
表紙にも載っているっちゃ！

介護事業をもっと知ってもらいたい。

桜の木の下で出会った 2人に聞いた！

- Q** 芦屋町に長く住まれています
ますが町の印象は？
A 人の温かみを感じます。
自然も多く四季を感じ
やすいです。(今重)
- Q** 町全体がきれいです。ワン
ちゃんと毎日散歩しています
が夏井ヶ浜付近の海岸線にい
つも癒されています。(西村)
- Q** 芦屋町で子育てをして
みての感想は？
A 保育園などが多く、自
然が豊かなので子育て
はしやすい環境だと思いま
す。でも自分が高校生のとき
は通学が大変でした。(今重)
- Q** 介護事業に従事してい
ますが、ひとこと。
A 介護事業のことをもっ
と広く発信してたくさ
んの方がさらに利用しやす
くしたいです。(今重)



デイサービス風景



西村浩子さん(はまゆう区)



今重華子さん(柏原区)

介護事業のことをもっ
と広く発信してたくさ
んの方がさらに利用しやす
くしたいです。(今重)

議会を傍聴しませんか！

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の
ひとつです。ぜひお越しください。

次回の定例会は
6月6日開会予定

詳細は議会事務局にお問い合わせください。
TEL 093-223-3579

議会事務局職員の人事異動

令和6年4月1日付で横田係長がポートレース
事業局事業課長として異動し、新しく岡本係長を
迎えました。



左から鉦守(事務員)、山城(書記)、岡本係長、福田局長

【発行責任者】	
議長	内海 猛年
【議会広報常任委員会】	
委員長	長島 毅
副委員長	貝掛 俊之
委員	本田 浩
委員	萩原 洋子
委員	香田 一之
委員	田中 太

気候が穏やかな季節
となりました。新型コロナ
ウイルス感染症が
5類に移行し、久しぶ
りに梅や桜などの花見
を楽しんだ方々もおら
れることでしょう。

議会ではさまざまな
施策や条例改正により
地域発展に寄与してい
ます。

今後とも地域の声に耳
を傾け課題解決に向け
て行動すると共に地域
の連携を深め、住んで
良かった町づくりを進
めていきます。引き続
きご支援とご協力をお
願い申し上げます。

本田 浩

編集
後記